

南相馬市立原町第一中学校 学校だより

# 原町一中だより



令和2年度 第2号

発行日令和2年5月19日(火)

発行者：南相馬市立原町第一中学校長 伊藤 浩樹

## 【教育目標】

自ら考え正しく判断できる生徒  
心豊かで最後までやり抜く生徒  
健康で活力ある生徒

## 【重点目標】

自他を大切にし、共に学び支え合  
う生徒 TEL 0244-22-4144

## 学校再開！ 今思うこと……

薫風の候、保護者の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのことと存じます。また、平素から本校教育活動に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、5月14日に緊急事態宣言が解除され、県知事からの休業要請解除までの間、本日より全校登校日として段階的に教育活動を再開していくことになりました。先週実施した分散登校では、生徒同士の間隔など感染防止に配慮しながら、少しずつ本来の学校生活を取り戻すべく努力をしてきましたが、いよいよ来週からやっと本格的に学校を再開することができる見通しです。

生徒たちとってもこれからは、何かと不自由の多い生活が続いていくこととなりますが、3密を避けることに十分に配慮しながら、充実した学校生活を送らせたいと思います。本来の学校生活とはほど遠いものとなることは避けられないと思いますが、お互いに我慢し合い、気を遣い合って生活をしていくことで、互いに支え合い協力し合って生きることを伝えていきたいと思っています。

3月の臨時休校以来、生徒そして保護者の皆さんが経験している悲しみや戸惑いを思いますと、たまらない気持ちになります。毎日が夢の中にいるような日が続いていました。人類が未だ経験したことがないような大変な状況におかれた世界、未知のウイルスとの終わりの見えない戦いの日々、そんな中で生きていくことをどのように受け入れたらよいのか……。私たち大人の行動が、今まさに試されているのではないのでしょうか。

世間では、「自粛警察」なる言葉も生まれています。人それぞれに、自分の信じる「正義」があります。でも、その「正義」は他の人の「正義」とは同じではありません。自分の「正義」を相手に押しつけることによって生まれるトラブルも少なくないのです。

今一番大切なことは、子ども達一人一人の幸福な未来のために、子ども達の「健康と幸せ」のために、何が大切かをよく考えて、私たち大人が自らの責任で判断し、行動していくことではないのでしょうか。このような時だからこそ、相手を思いやり、支え合うことの大切さを、その姿勢を見せることで子ども達に示していけたらと思っています。

しかし、とにかくそんな中で、生徒達は、前向きに行動し、学び続けていきます。

思えば、私たち人間は「不自由」に生まれ、そこから少しずつ学ぶことで「自由」を得てきました。学ぶことを止めたとき、真の自由を手に入れることはできないのです。そして、学ばない人は、これから得ることができる真の自由を放棄してしまう人なのです。幸い私たちの頭は、いくら知識をため込んでも、破裂することもないし、重さが増えることもありません。日々の学校での学びを大切にして、一生懸命学習に取り組んで欲しいと思います。私たち教師はそんな生徒たちを全力で支えてまいります。

## 感染拡大防止のためのお願い

新型コロナウイルスとの戦いは、これから長期間続くと言われていています。学校では、感染拡大を防ぐために、これまでもマスクの着用は手洗いの励行などを行ってきましたが、今後も継続してきます。

そこで、以下の点について、再度確認をお願いします。

- 1 発熱など、風邪の症状がある場合には無理をさせず、登校を控えてください。
- 2 朝、登校前に、家庭で、必ず検温をしてください。
- 3 感染予防のため、全員、マスクの着用をお願いします。なお、マスクの色・柄は問いません。
- 4 日常生活の中でも、常に、3密(密閉、密集、密接)を避けた行動を心がけるようお願いします。

# 「新しい生活様式」を確認しましょう

第 2 号(2)

新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言を踏まえて、5月4日に、厚生労働省から、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の日常生活の中で取り入れていただきたい実践例が示されました。また、学校における新型コロナウイルス感染症の対策に関する懇談会からの「提言」でも、「学校における感染リスクをゼロにするという前提に立つことは困難であり、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減していく」という認識に立つことが重要であると述べられています。そこで、学校再開にあたり、改めて「新しい生活様式」の実践例について、各学級で確認しました。

## 「新しい生活様式」の実践例

### (1) 一人ひとりの基本的感染対策

#### 感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
- 遊びに行くなら**屋内より屋外**を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、**症状がなくてもマスク**を着用
- 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に**洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

#### 移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

### (2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒**
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「**3密**」の回避（**密集、密接、密閉**）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



### (3) 日常生活の各場面別の生活様式

#### 買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

#### 公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

#### 娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

#### 食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

#### 冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

### (4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 名刺交換はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定